

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公開番号】特開2015-94852(P2015-94852A)

【公開日】平成27年5月18日(2015.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-033

【出願番号】特願2013-234032(P2013-234032)

【国際特許分類】

G 03 B 15/00 (2006.01)

H 04 N 5/235 (2006.01)

G 03 B 7/085 (2006.01)

【F I】

G 03 B 15/00 G

H 04 N 5/235

G 03 B 7/085

G 03 B 15/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月1日(2016.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明の一態様の撮像装置は、

被写体の明るさに応じて、標準の露出となるように露出条件を自動的に変化させる自動露出制御を行う自動露出制御手段と、

撮影条件を変化させながら自動的に複数回の連続撮影を行うオートブラケット撮影を制御する自動撮影制御手段と、

前記オートブラケット撮影時に変化させる撮影条件に前記露出条件が含まれる場合において、前記撮影条件の変化に追随し、かつ前記自動露出制御を維持するように前記自動露出制御手段を制御し、当該自動露出制御された露出条件が含まれる撮影条件で、前記自動撮影制御手段によるオートブラケット撮影を行わせる制御手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体の明るさに応じて、標準の露出となるように露出条件を自動的に変化させる自動露出制御を行う自動露出制御手段と、

撮影条件を変化させながら自動的に複数回の連続撮影を行うオートブラケット撮影を制御する自動撮影制御手段と、

前記オートブラケット撮影時に変化させる撮影条件に前記露出条件が含まれる場合において、前記撮影条件の変化に追随し、かつ前記自動露出制御を維持するように前記自動露

出制御手段を制御し、当該自動露出制御された露出条件が含まれる撮影条件で、前記自動撮影制御手段によるオートブラケット撮影を行わせる制御手段と、  
を備えることを特徴とする撮像装置。

#### 【請求項 2】

前記制御手段は、前記自動撮影制御手段による露出条件を含む撮影条件を変化させたオートブラケット撮影を行う場合に、少なくとも露出に関する2つの撮影パラメータを変化させることで、前記自動露出制御を維持するように前記自動露出制御手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

#### 【請求項 3】

前記自動露出制御手段は、被写体の明るさに応じて少なくとも露出に関する2つの撮影パラメータを自動的に変化させる際の変化条件を規定する所定のプログラム線図に従って自動露出制御を行い、

前記制御手段は、前記少なくとも2つの撮影パラメータの変化条件が異なる複数のプログラム線図を切り替えて、自動露出制御を有効にした状態でオートブラケット撮影を行うことを特徴とする請求項1または2に記載の撮像装置。

#### 【請求項 4】

オートブラケット撮影の基準となる撮影パラメータを選択する選択手段を更に備え、

前記制御手段は、前記選択手段により選択された基準となる撮影パラメータに応じてプログラム線図を切り替えて、自動露出制御を有効にした状態でオートブラケット撮影を行うことを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の撮像装置。

#### 【請求項 5】

前記制御手段は、被写体の明るさが変化した場合であっても、前記基準となる撮影パラメータの変化幅が一定になるようなプログラム線図に切り替えることを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

#### 【請求項 6】

前記制御手段は、被写体の明るさが変化した場合であっても、前記基準となる撮影パラメータの値を維持するようなプログラム線図に切り替えることを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

#### 【請求項 7】

前記制御手段は、前記基準となる撮影パラメータの変化幅が被写体の明るさに応じて異なるようなプログラム線図に切り替えることを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

#### 【請求項 8】

前記制御手段は、前記自動撮影制御手段によるオートブラケット撮影を行う際に、設定されているオートブラケット撮影のモードに応じて、前記撮影条件の変化に追随するよう前記自動露出制御手段による自動露出制御を有効にするか否かを切り替えることを特徴とする請求項1から7のいずれか1項に記載の撮像装置。

#### 【請求項 9】

前記制御手段は、前記自動露出制御手段による自動露出制御を有効にした場合には、予め決められた複数のプログラム線図を切り替えることで被写体の明るさを維持するように撮影条件を変化させてオートブラケット撮影を行わせ、前記自動露出制御手段による自動露出制御を無効にした場合には、被写体の明るさを変化させるように撮影条件を変化させてオートブラケット撮影を行わせるこれを特徴とする請求項8に記載の撮像装置。

#### 【請求項 10】

前記制御手段は、前記自動露出制御手段による自動露出制御を無効にした場合において、パラメータの変化幅を撮影シーンに応じて自動的に設定することを特徴とする請求項9に記載の撮像装置。

#### 【請求項 11】

被写体の明るさに応じて、標準の露出となるように露出条件を自動的に変化させる自動露出制御を行う自動露出制御処理と、

撮影条件を変化させながら自動的に複数回の連続撮影を行うオートブラケット撮影を制

御する自動撮影制御処理と、

前記オートブラケット撮影時に変化させる撮影条件に前記露出条件が含まれる場合において、前記撮影条件の変化に追随し、かつ前記自動露出制御処理における前記自動露出制御を維持するように制御し、当該自動露出制御された露出条件が含まれる撮影条件で、前記自動撮影制御処理におけるオートブラケット撮影を行わせる制御処理と、

を含むことを特徴とする撮像方法。

【請求項 1 2】

コンピュータに、

被写体の明るさに応じて、標準の露出となるように露出条件を自動的に変化させる自動露出制御を行う自動露出制御機能と、

撮影条件を変化させながら自動的に複数回の連続撮影を行うオートブラケット撮影を制御する自動撮影制御機能と、

前記オートブラケット撮影時に変化させる撮影条件に前記露出条件が含まれる場合において、前記撮影条件の変化に追随し、かつ前記自動露出制御を維持するように前記自動露出制御機能を制御し、当該自動露出制御された露出条件が含まれる撮影条件で、前記自動撮影制御機能によるオートブラケット撮影を行わせる制御機能と、

を実現させることを特徴とするプログラム。